

ふみこの

チャレンジ通信



11月議会
一般質問報告

発行 山下ふみこ後援会『ふみことステキな仲間たち』 討議資料
〒410-0022 沼津市大岡1556-2 TEL.055-962-2509
ホームページ <http://www.yamashita.fm/> メール: fumiko@yamashita.fm

平成22年11月議会一般質問

鉄道高架事業と将来の交通量の関係

鉄道高架事業はまだ始まっていません。
本道にこれから20年もかけようの？

- ① 将来の交通量の減少
- ② 高架化が不要な大きな理由
- ③ 人口減少
- ④ 東駿河湾環状道路などの広域的な道路整備による交通量の減少
- ⑤ 自動車保有台数の減少
- ⑥ 沼津市税収の減少

社会情勢の変化に
呼应して、計画の
見直しは必須！

表1 将来推計人口 (国立社会保障・人口問題研究所)

人口(人)	2010年(11/1)	2020年	2035年
沼津市	207,497	186,969	156,688
三島市	111,899	109,066	98,276

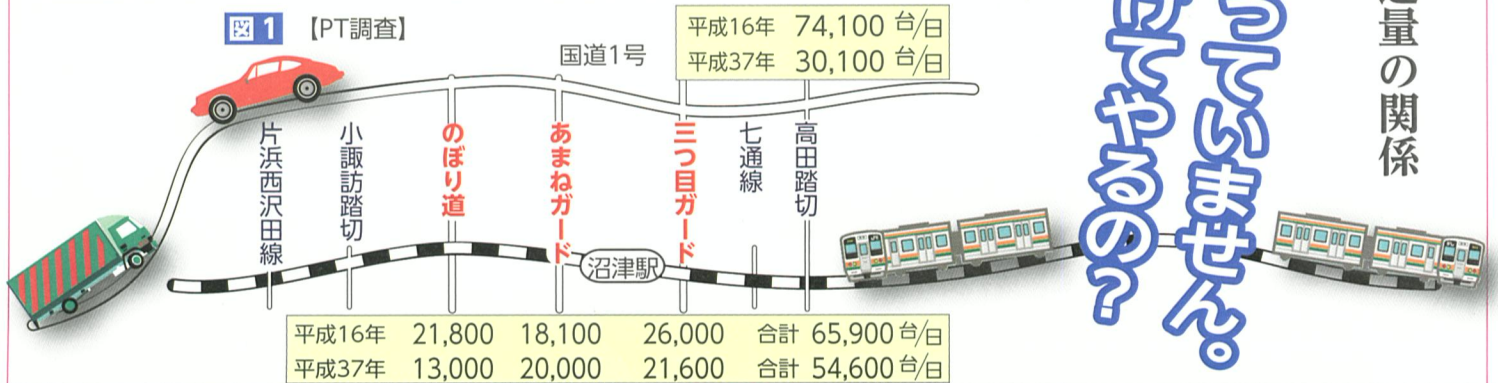
65歳以上の人口割合

高齢化率 (%)	2010年(11/1)	2020年	2035年
沼津市	24.0	31.2	36.5
三島市	22.8	29.0	33.5

● 国道1号線は平成16年74100台↓平成37年30100台と半分以下になり、沼津市内への交通量は激減

● 三ツ目ガード・あまねガードのぼり道ガードの3路線合計で平成16年65900台↓平成37年54600台に減少

図1 【PT調査】



都市計画部長の答弁
渋滞を解消するには、道路構造令で規定する2車線の基準交通量を越えるので、4車線にする必要がある。鉄道高架事業をはじめとする駅周辺総合整備事業は交通渋滞の解消だけでなく、南北市街地の一体化による安全安心なまちづくりをするための有効な手段だと考えている。

3ガードの路線は現在2車線で今の交通量に対して交通容量が不足しているため、渋滞が起きている。しかし4車線にすれば交通容量が増えるので、混雑は解消できる。

結論ありきではなく、
まだ、間に合います！

ふみこのまとめ

当局は南北市街地を一体化するには鉄道高架が有効だという。しかし、計画をした時と社会情勢は大きく変わっている。新しい都市計画の調査方法(P.T調査)を用いて見直してみると、交通渋滞の解消には4車線が必要だが、人口の減少や交通量の減少が予想される今、必ずしも高架化にする必要はない。

高架化事業はまだ
始まっていません！
諦めず訴え続けます！

(※1) P.T調査…パーソントリップ調査とは、社会情勢の変化、人口減少や交通車両の減少などを予測した総合的な都市交通体系調査



一般質問その2

『特別支援教育の現状と今後の取組』

平成17年4月に発達障がい者支援法が施行された。発達障がいの早期発見・発達支援を行うことに関し、国及び地方公共団体の責務・自立や社会参加の支援などが定められている。

障がいのある人を排除しない教育を！

国ではいかなる場面においても、障がいのある人を排除

しない教育が必要であるとして、共に学ぶことを理念とする障がい者教育が進められているが、沼津では、十分な支援体制が整備されていない現状が指摘されているため、沼津市立小中学校における特別支援教育の現状と見通しについて質問をした。

① 現在、通常学級には特別支援を要する児童生徒は何%在籍しているのか。

② 市・県の支援員で目的が達成できているのか、現状について

ての教育委員会の認識について。③ 特別支援の充実を図るため、支援員の増員など今後の見通し。

④ 沼津市の第4次総合基本計画案は、共に支えあう社会を目指すノーマライゼーションの理念が謳われている。心の通う支え合いのまちをめざす市長の考えについて。

教育長の答弁

「特別支援教育は、障がいのある子ども一人ひとりの教育的ニーズに応じた支援を行うことに重点を置かれている。通常学級に在籍する発達障がい児を含め、共に学ぶことは大変重要なことだと思っているので、今後とも、特別支援教育は大切にしていきたいと思っています。」

共に支えあう社会を！

ふみこのまとめ

平成19年4月の文部科学省からの通知は、特別支援教育について一層踏み込んだ支援を推進している。教師はその障がいの特徴や対応を固定的に捕らえることのないように注意し、ニーズに合わせた指導や支援を検討し、必要な配慮を行うとある。沼津市でも

ニーズに合わせた指導や支援が実現されるよう

今後も対応を見続けた。



市政報告会をしました

12月11日(土)・12月17日(金)

参加した方々の思いが一体となった印象深い会になりました。ありがとうございます。



この通信は、市民活動が続ける素敵な仲間と一緒に作っています

香貫山影奉仕の清掃活動

今年で3年目を迎える香貫山での清掃活動。

月1回、香陵台に集合して仲間と一緒にゴミ拾いをしています。

まだまだ不法投棄はなくなりませんが、確実に少なくなってきています。

諦めずに楽しくやっています。どうぞ、一緒にやりましょう！



今期、こんな事が出来ました！

● 大岡南小学校の放課後児童クラブの新設 平成20年11月

昭和59年4月に設置された放課後児童クラブ。平成19年7月視察で、スペースがなく、事務室の床に寝かされている状況に新設を実現。



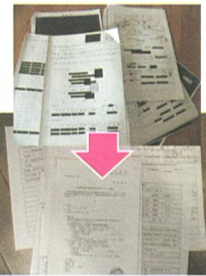
● 門池小学校の放課後児童クラブ、民家を改修増設 平成21年10月

平成20年6月、2年生の母親から「3年生になると定員いっぱいでは入れないので、仕事をやめなければならない。」というSOS。議会で質問。1年後に増設を実現。



● 沼津市の情報公開を1歩進める

平成20年2月、沼津駅周辺総合整備基金からの借入金で取得した土地(170億円)について、沼津市情報公開条例に基づいて開示請求したところ、不開示(黒塗り)回答。平成20年4月、開示を求めて不服申立て。平成20年12月審査会の答申で、全面開示がほぼ認められる。約1年かけてこの問題に取り組み、沼津市政の情報公開を進めていく上で大きな一歩。



● 補助金一覧表の提示を求める 平成22年6月

補助金・負担金の見直しをするため資料請求をしたところ、資料がないとの回答。40以上の担当課を廻り調査の結果。補助金256件(負担金496件)。税金の用途は厳密なチェック機能体制が必要。「補助金は予算書等に明確に出させる方向に指示をする。」という市長答弁を引き出す！

● 景観を配慮した香貫山電波塔を実現

平成21年9月から香貫山の頂上にデジタル防災無線設備整備事業で展望台駐車場に14.5mの鉄塔工事が進む。完成直前に景観を損なうという市民の意見で見直しを求め、鉄塔を合体した今の展望台が誕生。



● 歩道の真ん中の電柱の移動 平成22年12月

歩道の真ん中にある電柱を移動するため、県土木と東電に何度も足を運び、みんなの思いが実現した。

